

## 2019年度 政務活動費支出整理簿

(会派名 日本共産党西東京市議団 )

経費項目	視察研修費		
整理番号	月 日	支 出 額 (円)	支 出 内 容
1	5月14日	28,000	多摩住民自治研究所主催「議員の学校」参加費
2	7月5日	48,024	議会運営委員会視察(四日市市・彦根市)中村議員参加費
小 計		76,024	備 考
合 計		76,024	

領 収 証

No.20190514-36-1 <再>

日本共産党西東京市議団 様

¥28000-

但し 第36回「議員の学校」参加費として

2019年5月14日 上記正に領収いたしました

NPO法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明 3-10-5  
TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096

日付	発(場所)	着(場所)	利用交通機関	距離(km)	金額	備考	
視察期間 議会運営委員会視察(委員外議員 中村すぐる議員分) 令和元年7月22日(月)~7月23日(火)							
視察先 三重県 四日市市							
視察目的 議会改革の取り組みについて							
視察先 滋賀県 彦根市							
視察目的 議会開放推進プロジェクトチームについて							
7月22日							
	ひばりヶ丘駅	池袋駅	西武池袋線	16.4	267	IC乗車券利用	
	池袋駅	東京駅	JR山手線	12.3	6,800	乗車券(東京都区内~四日市)	
	東京駅	名古屋駅	JR新幹線ひかり505号	366.0	4,820	特急券(指定席・繁忙期)	
	名古屋駅	四日市駅	JR快速みえ5号	37.2	0	乗車券(東京都区内~四日市)	
	視察先(四日市市)						
	四日市駅	名古屋駅	JR関西本線	37.2	2,270	IC乗車券利用	
	名古屋駅	大垣駅	JR東海道本線	44.0			
	大垣駅	米原駅	JR東海道本線	35.9			
	米原駅	彦根駅	JR琵琶湖線新快速	6.0			
1日目合計				555.0	14,157		
7月23日	視察先(彦根市)						
	彦根駅	米原駅	JR琵琶湖線	6.0	7,340	乗車券(彦根~東京都区内)	
	米原駅	東京駅	JR新幹線ひかり526号	445.9	5,260	特急券(指定席・繁忙期)	
	東京駅	池袋駅	JR山手線	12.3	0	乗車券(彦根~東京都区内)	
	池袋駅	ひばりヶ丘駅	西武池袋線	16.4	267	IC乗車券利用	
	2日目合計				480.6	12,867	
小計				1,035.6	27,024		
日当	2,500円 × 2日			5,000			
宿泊費(1泊2食付)	16,000円 × 1泊			16,000		実費	
	宿泊費16,800円 超過分800円は自己負担			0			
小計				21,000			
合計				48,024			

# 領 収 証

63811 A

RECEIPT

2019 年 7 月 12 日

日本共産党西東京市議団様

(ご注意)

本証に、営業所名、営業所印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします

金額				¥	2	4	2	2	0
----	--	--	--	---	---	---	---	---	---

7/22 東京-四日市  
ただし 7/23 彦根-東京

JR代金として

- ①現金
- 2.小切手
- 3.振込
- 4.クレジット( )
- (¥ )
- 5.その他( )

カード)

上記金額正に領収いた



日本旅行サービス株式会社

N S 田無アス 4960

営業所 扱者名



50,000円以上

収入印紙

様式第1号 (第3関係)

支 払 証 明 書

- 1 金 額 534 円
- 2 支 払 先 西武鉄道
- 3 件 名 議会運営委員会視察随員(委員外)
- 4 支払年月日 令和元年7月22日から7月23日

上記のとおり支払したことを証明します。

会 派 名 日本共産党西東京市議団  
代 表 者 藤 岡 智 明 印

No. 0079998

ご利用明細書

彦根キャッスル リゾート&スパ

HIKONE CASTLE RESORT&SPA

〒522-0075 滋賀県彦根市佐和町1-8

TEL:0749-21-2001 FAX:0749-21-2200

URL <http://www.hch.jp/>

お名前(Name)

日本共産党西東京市議団 様

お部屋 Room	到着日 Arrival	泊数 Nights	出発日 Departure	人数 Persons	発行日 Issue	担当 Clerk	ページ Page
412	2019/07/22	1	2019/07/23	1	2019/07/23		1: 1

日付 Date	お部屋 Room	ご利用明細 Description	単価 Unitprice	数量 QTY	金額 Charges	入金 Payment
7/22	419	*2付(宴会会席6)	16,800	1	16,800	
	412	前受金				16,800
ご署名 Signature					ご利用合計 Total	ご請求額 Balance
会社名 Firm					16,800	0

(税抜 15,557)

No. 0079998

領収書

お名前 (Name)

Payment

日本共産党西東京市議団 様

彦根キャッスル リゾート&スパ

HIKONE CASTLE RESORT&SPA

〒522-0075 滋賀県彦根市佐和町1-8

TEL:0749-21-2001 FAX:0749-21-2200

URL <http://www.hch.jp/>

領収金額  
(Balance Due)

¥16,800 円

発行月日 (Issue)

2019/07/23

上記金額領収いたしました。

印紙

2019年7月23日

日本共産党西東京市議団 中村すぐる

#### 【四日市市での視察】議会改革～議員間討議からの条例提案

##### ★視察先にした選定理由

「日経グローバル」246号(2014年6月発行)にて議会改革度 No.1の自治体に四日市市が選ばれた(参考 <http://www.nikkei.co.jp/rim/glweb/backno/no246.html>)。全国の自治体から数多く視察にきている。今回の視察では、特に議員提案議案の件数が多いことに着目した質疑が特徴的だった。

##### ★議員間討議がされるようになった経緯～議員政策研究会

- ・H12年に、執行部を交えず、議員だけで自主的に意見交換・情報交換を行う場として「市政活性化推進等議員懇談会」(略称：市活懇)が設置された。議長の諮問機関。(おそらく、この懇談会の設置や運営に当時の初当選議員が大きく貢献したとのこと)
- ・H17年に「議会基本条例」が制定されたことにより、議長の諮問機関として設置されていた「市活懇」は、議会基本条例の考えに基づき「議員政策研究会」(略称：議政研)として発展的に改編。全議員が一堂に会して意見交換を行い、市政に関する様々な課題に対して共通認識の醸成を図り、政策立案機能の更なる向上に資するため設置された。
- ・実際には「議政研」のなかから年度ごと(年度をまたがる場合もある)に分科会を設置。分科会メンバーは希望者を募って構成する。
- ・「議政研」で話し合われた内容は、翌年度に特別委員会を設置して議員提出議案で条例化したり、市長に政策提言として取りまとめたりしている。
- ・分科会のテーマは各議員・会派からの提言で決まる。テーマは短期間での議論やその場の思いつき等で決めるということではなく、各議員・会派で、ある程度の期間、政策研究を重ねてきたものになっている。且つ、条例化などの際に、全会一致もしくは全会一致に近い形で採択されそうなテーマにしている。(党派・会派で対立しそうな案件(議会としての合意形成が難しいと予測される案件)は、議政研ではそもそも扱わない。)
- ・分科会の座長は、そのテーマを提案した会派の議員が務める(必然的に、そのテーマについて最も政策研究してきた議員が座長を務める)。
- ・予算と関連するテーマや議案の扱いはケースバイケース。執行部との調整をする場合もあるそう。

##### ★議会報告会とシティ・ミーティング

##### ★「議会だより」の表紙を刷新～親しみを持てる「議会だより」に

##### ★H17年に議員提案で制定した「議会基本条例」の基本方針 三本柱

- ①市民との情報共有(第20条～23条)

②市民参加の推進（第24条～26条）

③議員間討議の活性化（第27条～31条）

★「議会基本条例」に記載した新たな取組

- ・ 通年議会
- ・ 反問権
- ・ 文書質問
- ・ 議会意見の尊重 など

【彦根市での視察】議会改革～議場開放

★経緯

もともと西東京市と同じような「議会報編集委員会」を置いていたが、市民アンケートの結果から「これだけでは取組が足りていない」と判断。「議会報編集委員会」を「議場開放促進委員会」「広報委員会」「広聴委員会」の3委員会に分け、全議員(24名)がいずれかの委員会に所属(各委員会8名)。それに加えて「広報公聴調整委員会」(正副議長、各委員会正副委員長で構成)を新たに設置。

★議場開放促進委員会…議場コンサート、子ども議会など

★広報委員会…市議会だより編集、FB・HP更新など

★広聴委員会…議会報告会など

★議会報告会

- ・ 参加者減少時に新たな工夫として「ワークショップ形式」を採用。テーマを決めて開催することもある。
- ・ 市内各種団体や大学生に参加者を絞った議会報告会も開催している。
- ・ ワールドカフェ方式の議会報告会 『カタリバ』 (参考：<https://careerpark.jp/27737> )
- ・ オープン体験参加型の議会報告会や、大型商業施設(田無でいうアスタ等の施設)での開催。

★子ども議会

- ・ 年度当初から教育委員会とも協力して準備を行う。子ども議会本番は11月中旬頃。
- ・ 6月に各小学校に依頼をして、7月末までに質問要旨や議員名を書いた応募用紙を提出してもらう。
- ・ 応募用紙を見て、質問がダブらないように教育委員会などで質問項目の調整。8月上旬に子どもたちに議場の案内も含めて事前研修会を開催する。
- ・ 9月に質問原稿を作成してもらい、教育委員会・議会事務局・企画課で調整。10月に答弁書の作成と答弁協議など。
- ・ 本番1週間前にリハーサル。本番が終わったら子ども議員からアンケートを提出してもらう。
- ・ 質問時間は1人5分。



- ◎「子ども議会」とはいえ、執行部の答弁を含めその議事録は公文書として扱われる！
- ◎一定程度は答弁調整をして、お互いに原稿があって質疑をする場合もあるが、途中からは原稿無しでその場でのやりとりになることもあるそう。
- ◎子ども議会での意見を採用・実現した例もあるとのこと。

#### ★議場コンサート

- ・西東京市とは異なり、出演団体は市内で活動している地域・市民の団体。
- ・6月議会と12月議会の、年2回開催。時間は昼食休憩後 13時～13時30分。

#### ★議会だより

- ・「手に取ってもらえる議会報」をテーマに改革に着手。H29年度からオールカラー化。デザインや色使いなど、高校生や大学生の意見も取り入れた。
- ・広報委員長(議会だより編集長)の議員は印刷会社の経営者。その道のプロであったことも大きな要因。

#### 【両市での共通点】

- ★視察の受入・説明を議員自身が行う
- ★議会で反問権を認めている。(ただし使われた例は極めて限定的)
- ★議会改革(議会報告会・意見交換会)が選挙での投票率向上に繋がるかは疑問
- ★議会報告会は、工夫しないと参加者が固定化される
- ★市民との意見交流などでグループディスカッションをする際、各グループのファシリテーター(進行役。議員間討議も含め)によって議論の様子が変わる(良くも悪くも)
- ★子ども議会や高校生議会を開催
- ★議会改革に伴い議会事務局の職員体制にも力を入れている(四日市は職員が18名)

#### 【感想】

議会改革に先進的に取り組んでいる自治体を視察できたことは、1期目の私にとって良い刺激となった。各自治体の議会ごとに前例踏襲などで出来ている暗黙のルールが多くあると思うが、時期や他自治体の取り組みなどをみて適宜改めていく必要があると感じた。それは西東京市議会も例外ではない。四日市市では当時の初当選議員が一丸となったことや、彦根市では印刷・編集のプロが議員になり議会だよりの責任者になるなど特殊な背景もあるが、西東京市議会として学ぶべきこと、また改善を図るヒントになることも多くあった。今回の視察を今後の議会活動に活かしていきたい。